

東京三金の靴

洋式革上
一號四圓五十
二號五圓五十
三號六圓五十
四號七圓五十
五號八圓五十
六號九圓五十
七號十圓五十
八號十一圓五十
九號十二圓五十
十號十三圓五十
十一號十四圓五十
十二號十五圓五十
十三號十六圓五十
十四號十七圓五十
十五號十八圓五十
十六號十九圓五十
十七號二十圓五十
十八號二十一圓五十
十九號二十二圓五十
二十號二十三圓五十

▲御往來の節は靴類と勞
包料敷致に御代申引換
え可也
▼御買御着品目毎寸明
細在仰取覽せ申す候
也此中區亞寄町
三金書等靴店
電話 新芝六九〇
寶曆二年一月二三

[illegible]



釜山から北京へ 直通列車を運轉

日支親善の爲め
然し實行は三四年後か

北支間の交通を促進する爲め、日支親善の爲め、釜山から北京へ直通列車を運轉する計画が、日支親善の爲め、然し實行は三四年後か、と云ふ。此の計画は、日支親善の爲め、然し實行は三四年後か、と云ふ。此の計画は、日支親善の爲め、然し實行は三四年後か、と云ふ。

過激派の集會

に於て演説を從事
スウェーデンのラヂオ・エネン

スウェーデンのラヂオ・エネン、に於て演説を從事、と云ふ。此の演説は、過激派の集會、に於て演説を從事、と云ふ。此の演説は、過激派の集會、に於て演説を從事、と云ふ。

婦人四十名 悉く溺死

本會川の惨事

本會川の惨事、と云ふ。此の惨事は、婦人四十名、悉く溺死、と云ふ。此の惨事は、婦人四十名、悉く溺死、と云ふ。

正木小隊の力戦

敵は屍體二十を遺棄し
我軍は戦死者七を出す

正木小隊の力戦、と云ふ。此の戦いは、敵は屍體二十を遺棄し、我軍は戦死者七を出す、と云ふ。此の戦いは、敵は屍體二十を遺棄し、我軍は戦死者七を出す、と云ふ。

新校舎

来月上旬に移転
龍山中學の

龍山中學の新校舎、と云ふ。此の新校舎は、来月上旬に移転、と云ふ。此の新校舎は、来月上旬に移転、と云ふ。

華頂宮家

美術品を
大正八年四月十九日

華頂宮家の美術品、と云ふ。此の美術品は、大正八年四月十九日、と云ふ。此の美術品は、大正八年四月十九日、と云ふ。

月山の刀が泣いた

寺内閣の令息殺
雄中尉に痛くは刺した

月山の刀が泣いた、と云ふ。此の物語は、寺内閣の令息殺、雄中尉に痛くは刺した、と云ふ。此の物語は、寺内閣の令息殺、雄中尉に痛くは刺した、と云ふ。

大正十年

でせうが
日本は

大正十年、と云ふ。此の大正十年は、でせうが、日本は、と云ふ。此の大正十年は、でせうが、日本は、と云ふ。

水原郡尚不穩

家屋十數戸焼く

水原郡尚不穩、と云ふ。此の水原郡は、家屋十數戸焼く、と云ふ。此の水原郡は、家屋十數戸焼く、と云ふ。

近藤男の大飛行

百里位
白鳥皇帝は僅か

近藤男の大飛行、と云ふ。此の大飛行は、百里位、白鳥皇帝は僅か、と云ふ。此の大飛行は、百里位、白鳥皇帝は僅か、と云ふ。

忠北平穩

近頃認許されん

忠北平穩、と云ふ。此の忠北は、近頃認許されん、と云ふ。此の忠北は、近頃認許されん、と云ふ。

普通學校生徒

九分通り出

普通學校生徒、と云ふ。此の普通學校生徒は、九分通り出、と云ふ。此の普通學校生徒は、九分通り出、と云ふ。

横山氏來奉

大正八年四月十九日

横山氏來奉、と云ふ。此の横山氏來奉は、大正八年四月十九日、と云ふ。此の横山氏來奉は、大正八年四月十九日、と云ふ。

花時と迷兒

空想小説

花時と迷兒、と云ふ。此の花時と迷兒は、空想小説、と云ふ。此の花時と迷兒は、空想小説、と云ふ。

騒擾事件公報

陸軍省の発表

騒擾事件公報、と云ふ。此の騒擾事件公報は、陸軍省の発表、と云ふ。此の騒擾事件公報は、陸軍省の発表、と云ふ。

大掃除日割

二十日から始行

大掃除日割、と云ふ。此の大掃除日割は、二十日から始行、と云ふ。此の大掃除日割は、二十日から始行、と云ふ。

深山なみさん

方の世話役に

深山なみさん、と云ふ。此の深山なみさんは、方の世話役に、と云ふ。此の深山なみさんは、方の世話役に、と云ふ。

年節が足らない

新年の足らない

年節が足らない、と云ふ。此の年節が足らないは、新年の足らない、と云ふ。此の年節が足らないは、新年の足らない、と云ふ。

音楽の方では

音楽の方では

音楽の方では、と云ふ。此の音楽の方では、音楽の方では、と云ふ。此の音楽の方では、音楽の方では、と云ふ。

生船の上客

大正八年四月十九日

生船の上客、と云ふ。此の生船の上客は、大正八年四月十九日、と云ふ。此の生船の上客は、大正八年四月十九日、と云ふ。

騒擾判決

忠南に於ける

騒擾判決、と云ふ。此の騒擾判決は、忠南に於ける、と云ふ。此の騒擾判決は、忠南に於ける、と云ふ。

褒賞授與式

陸軍省の発表

褒賞授與式、と云ふ。此の褒賞授與式は、陸軍省の発表、と云ふ。此の褒賞授與式は、陸軍省の発表、と云ふ。

龍山の種痘

龍山の種痘

龍山の種痘、と云ふ。此の龍山の種痘は、龍山の種痘、と云ふ。此の龍山の種痘は、龍山の種痘、と云ふ。

六頭を捕獲

龍山の種痘

六頭を捕獲、と云ふ。此の六頭を捕獲は、龍山の種痘、と云ふ。此の六頭を捕獲は、龍山の種痘、と云ふ。

全州遊樂地

全州遊樂地

全州遊樂地、と云ふ。此の全州遊樂地は、全州遊樂地、と云ふ。此の全州遊樂地は、全州遊樂地、と云ふ。

卵形無煙炭

卵形無煙炭

卵形無煙炭、と云ふ。此の卵形無煙炭は、卵形無煙炭、と云ふ。此の卵形無煙炭は、卵形無煙炭、と云ふ。

西崎商會

西崎商會

西崎商會、と云ふ。此の西崎商會は、西崎商會、と云ふ。此の西崎商會は、西崎商會、と云ふ。

女子部書問教授開始

毎週水曜午後三時三十分より一時間
日本女子部書問教授開始

女子部書問教授開始、と云ふ。此の女子部書問教授開始は、毎週水曜午後三時三十分より一時間、と云ふ。此の女子部書問教授開始は、毎週水曜午後三時三十分より一時間、と云ふ。

美乳

花が咲いた！
男振がよくなった！

美乳、と云ふ。此の美乳は、花が咲いた！男振がよくなった！、と云ふ。此の美乳は、花が咲いた！男振がよくなった！、と云ふ。

中島醫院

内科 小児科 皮膚科 泌尿科 婦人科 産科 眼科 耳鼻科 齒科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿科 婦人科 産科 眼科 耳鼻科 齒科 外科 整形外科

中島醫院、と云ふ。此の中島醫院は、内科 小児科 皮膚科 泌尿科 婦人科 産科 眼科 耳鼻科 齒科 外科 整形外科、と云ふ。此の中島醫院は、内科 小児科 皮膚科 泌尿科 婦人科 産科 眼科 耳鼻科 齒科 外科 整形外科、と云ふ。

卵形無煙炭

卵形無煙炭

卵形無煙炭、と云ふ。此の卵形無煙炭は、卵形無煙炭、と云ふ。此の卵形無煙炭は、卵形無煙炭、と云ふ。

西崎商會

西崎商會

西崎商會、と云ふ。此の西崎商會は、西崎商會、と云ふ。此の西崎商會は、西崎商會、と云ふ。

花が咲いた！

男振がよくなった！

花が咲いた！、と云ふ。此の花が咲いた！は、男振がよくなった！、と云ふ。此の花が咲いた！は、男振がよくなった！、と云ふ。

美乳

花が咲いた！
男振がよくなった！

美乳、と云ふ。此の美乳は、花が咲いた！男振がよくなった！、と云ふ。此の美乳は、花が咲いた！男振がよくなった！、と云ふ。

Illustration of a hand holding a shoe next to a can of Milk Snow Brand Tread Powder. The can is labeled "MILK SNOW BRAND TREAD POWDER" and "TRADE MARK".



小十五錢
大廿五錢

全國藥
店にあり

株式會社



の諸學説
提供せり

山邊元三郎

天

近來類似品續出するに注意を喚起す

ALL-PORT WINE
SWEET
BOTTLED BY THE
WINE MERCHANTS
OF LONDON
ESTD 1875



民族生理の研究

愈々總督府醫院で始める
習俗の改善に資したい爲め
醫學博士 芳賀博士 談

民族生理の研究は、人類の生活と健康とを研究する上で最も重要なものである。我が國の民族は、長い歴史を通じて、独自の生活習慣と健康状態を形成してきた。しかし、近代化の進展に伴い、生活環境と生活習慣が急激に変化し、それに伴う健康問題も生じている。總督府醫院では、このような問題を解決するために、民族生理の研究を積極的に進めようとしている。この研究は、民族の生活習慣、食生活、気候環境、そしてそれらが健康に与える影響を詳細に調査することから始まる。芳賀博士は、この研究が、民族の健康を向上させ、生活の質を高めることに大きく貢献するであろうと信じている。



呼吸状態

呼吸器の機能は、人間の健康に最も重要な役割を果たしている。呼吸器が正常に機能していないと、様々な健康問題が生じる。民族生理の研究では、異なる民族間の呼吸器の機能の違いを調査している。例えば、高気圧環境に慣れた民族と低気圧環境に慣れた民族の間では、呼吸器の構造や機能が異なることが観察されている。このような研究は、民族の健康を改善するための重要な手がかりを提供する。

血液の循環

血液の循環は、人間の生命活動の基盤である。血液が全身に酸素と栄養を供給し、老廃物を排出する役割を果たしている。民族生理の研究では、民族間の血液循環の差を調査している。例えば、寒冷地に住む民族は、血液の凝固性が高くなる傾向があることが知られている。これは、寒冷環境での生存に適応した結果であると考えられている。

風光明媚

自然環境は人間の健康に大きな影響を与える。美しい風景は、心身をリラックスさせ、ストレスを軽減する効果がある。民族生理の研究では、異なる自然環境に住む民族の健康状態の差を調査している。例えば、緑豊かな環境に住む民族は、精神的な健康状態が良い傾向があることが観察されている。

別府行

別府は、美しい自然環境と豊かな文化を持つ観光地である。別府行は、健康とレジャーを兼ねた旅行として人気を集めている。別府の温泉は、民族生理の研究でも、健康に良い影響を与えることが確認されている。別府を訪れる際には、美しい風景を楽しむだけでなく、健康な生活を送るためのヒントを見つけることもできる。

軍旗祭

軍旗祭は、日本の伝統的な祭りの一つである。この祭りは、戦国時代から始まり、戦国武将の軍旗を展示し、その歴史を伝えることが目的である。近年では、祭りの規模が拡大し、多くの観光客が訪れるようになった。軍旗祭は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

朝鮮の花に憧れて

朝鮮の花は、日本人の心を魅了している。朝鮮の花は、独特の美しさと香りを持ち、日本人の心を癒す効果がある。朝鮮の花を育てることは、健康とレジャーを兼ねた活動として人気を集めている。朝鮮の花を育てる際には、適切な環境と手入れが必要である。

危い京城の水道

京城の水は、健康に大きな影響を与える。京城の水は、独特の味と香りを持ち、日本人の心を癒す効果がある。京城の水を飲むことは、健康とレジャーを兼ねた活動として人気を集めている。京城の水を飲む際には、適切な環境と手入れが必要である。

京仁荒しの賊

京仁荒しの賊は、日本の伝説的な人物である。この人物は、戦国時代から活躍し、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この人物の伝説が広く知られるようになった。京仁荒しの賊の伝説は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

鮮満の唱歌

鮮満の唱歌は、日本の伝統的な音楽の一つである。この音楽は、戦国時代から始まり、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この音楽の規模が拡大し、多くの観光客が訪れるようになった。鮮満の唱歌は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

晋州の騒擾

晋州の騒擾は、日本の伝説的な人物である。この人物は、戦国時代から活躍し、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この人物の伝説が広く知られるようになった。晋州の騒擾の伝説は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

高貴織

高貴織は、日本の伝統的な織物の一つである。この織物は、戦国時代から始まり、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この織物の規模が拡大し、多くの観光客が訪れるようになった。高貴織は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

七日のんだら

七日のんだらは、日本の伝説的な人物である。この人物は、戦国時代から活躍し、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この人物の伝説が広く知られるようになった。七日のんだらの伝説は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

最新刊

最新刊の書籍は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。この書籍は、戦国時代から始まり、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この書籍の規模が拡大し、多くの観光客が訪れるようになった。最新刊の書籍は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

惠命湯

惠命湯は、日本の伝統的な温泉の一つである。この温泉は、戦国時代から始まり、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この温泉の規模が拡大し、多くの観光客が訪れるようになった。惠命湯は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

新最腸胃

新最腸胃は、日本の伝統的な腸胃薬の一つである。この薬は、戦国時代から始まり、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この薬の規模が拡大し、多くの観光客が訪れるようになった。新最腸胃は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

七日のんだら

七日のんだらは、日本の伝説的な人物である。この人物は、戦国時代から活躍し、戦国武将の軍旗を盗むことが目的である。近年では、この人物の伝説が広く知られるようになった。七日のんだらの伝説は、日本の歴史と文化を学ぶ絶好の機会である。

第三回
島山碧
波作畫

森島
田山
碧
久波
畫作

〔宛で腹を割つて涙ぐやうですわね〕
 執事に内つて母の御容を吐いた
 麗子は操子の時を撫じ手先を少しも違ふのす
 一操子さん何んぞ云ふぞ、操子行
 爲をなさるゝです 貴女は私に恥
 川の間に言はまじし關係であら
 御伯を遊立てた麗子夫人は、
 己の良標榜を引寄せた操子の端
 容を迫るのであつた、言ひ違ふ端
 麗針をさぐで義理ある他操子の

「思へて斯んな相似をなすつたの
でせうが、禰りながら貴女のお母
様と同じの人物」思はれては因（な）
本わい」
「三つづつ城子（じま）の喉の根が抜け
るばかりに力を配る」
「ア阿んの必要があつて斯んな
容を迫るのであつた。
「はい……はい……」
養理の母が満足するやうな容（よう）
をするより、悲しい我が身の
通に泣く妻子にはまう口が利け
ない。黙つて居ては判（わ）りませんよ」

「天には何の爲めに斯んな處に降
さしたか。お母様は別に深い意味があつて此處へ來つたのでは御座い
ません」

「ハッ、と聞くと身を震はせた。
手も足も動かないで、操子の面上を
下へ、いゝ、初め、一瞥を廻つた
直ぐからまたつかのか夫れが被つて
来た」

「お祖母さま、眞可笑く私が
うけました」

上京中の處本日醫
院從前の通り診療
に従事致候
丁目
胃腸病院
京都明治町

の御座る大窓で早速空を呼んで私の身を振る取つて貰ひました。
幼き時から父親一人の手で育て方をなれて来た艶子は、成程驚きながら様子を見たが、斯うな無頼漢の隣りにある様子に辛く當たるとは、何か他に深い考へを抱けて居るからであらう。

尾を振る犬は打たれぬ云々云々がある、操子は何處まで無くなつて、義母の心を取付けやうとしたのは改めては無く、仲居に居ます。夫より、彼の理由に達したの話を盗み聞きやうとしたのは

佐々木杏造

洗滌の注意
 絹糸の洗ひ方
 絹糸の洗ひ方
 絹糸の洗ひ方

な じ 難

凡そ二箇^{ふた}の位置^{ちゐり}の宛に水を充分
入れて蓋立たせ大きい鉢か河か
▽濾器^{ろき} でこし残つた滓に
た三合の水を注ぎ蓋立て先きの
濾します。そして暫く其まゝ
して上面の澄んだ水を一合のみ
をとり、これを二合の水と合す。

た
照
解いて置いた衣服を叩く處に置
れて居る部分をよく見定めて置
のです、即ち鑑の中に入れてよく
海苔を含ませて垢の附着してゐる
部分だけを軽く兩手でもむきとし
洗ひ其他は

▽氣永 二丁より戻りながら

ひその後で水で二三回、ぎ出
 余り乾く繞らずに陰干にします
 干陽がつたのを今度は細かく解
 衣向にして疊んで置きます。次
 洗を綺麗に洗ひ鹽に水をたつ
 入れ別に刷毛を拭き前に仕
 づて置いた布海苔を用意して垢
 布の一つを鹽に入れてよく水を

○是こゝからの糠味なぐみ噌そう
 〓塩しほは水みづ一いち緒じゆに煮にて
 昨きのう今けふのやうに野菜のさいが那な々ななら出でて来きますミ糠味なぐみ噌そうが必要ひつやうになりま
 す。而しかして大根だいこんが滑なめむ直ちよく瓜うりさ
 か茄子かきの時ときになつて

振替四三八四番

◇糠味噌 是是非非無くてはならぬもので、糠味噌を拵へる方法は何度か掲載しましたが、簡単に糠八合に食鹽一合、水二合八勺ミユのです、糠は炒らなくて、炙り支ありません、鹽は水で煮立て、冷して入れる事を忘れてはなりません、而してこの糠ミ味噌を

時に別に古い蘇味吟二十名と酒の
いたみ三斗を入れて醗酵させ一週
間の間は毎日ひつくり返します。
古蘇味吟を入れるのは細道を控
する爲です。蘇に一寸蘇味吟の直
る理由をふくむ蘇の麥粉に

◆**馬齒莧** 莖が鋭いて歯を傷
に變化させます。此蘇味吟の一部に

乳脂肪が働いて乳糖酸酵解を起し、何れも酸となり既にエステルなきが出来る。香気を作ります。又之に野薔薇油を混ぜる。野薔薇の細胞が食糧で何れも酸で殺され之が其かになつて其果実に全量種する。乳酸アルコール等が浸み込んで味をつけるのである。

日 報 俳 壇
 國語の日、雲雀
 寺詞 國弘而玉
 丘よりおろす聲の廣さる旭は霞
 廓の表を龍の鳥よく啼いて居り
 春陽展へられ梢に鳥は啼きかは
 二人の子供深き土壇をたどり
 煙の人等に落日の雲雀を張り
 谷の水谷高きと畑を散らし

細き灯のともさぬ藪よりよりりたる
 雪の夜
 雪火南より人々に星高く
 闇の丘にて星の鋭きさゆぎ
 自問自答語
 深夜の草のみなにてムスビ運き
 来たりて我を醒るくなくれ
 一ひたりて我を醒るくなくれ
 犬は淋しう我家の間をすり居り
 願國の夜

（前）新正に退治を度（大あぐら、盆花坊）

新刊紹介

▲活動寫眞雜誌（五月號） 口絵には名フィルムの映畫面及び東西俳句の寫眞を掲載し、記事には活動寫眞に關する論文、フィルムを模倣せるあり（定価廿五錢）東京清流（タカ町六五活動雜誌社）

▲世界少年（五月號） 無人島に漂出する少年、望の娘、戀を吞べた大體等何れも少年讀者に嗜好に過ぎず（定価廿五錢）

發行所東京市丸の内二丁目三番五號
 ●黑白月(月號) 移山其日庵 朝比奈
 知泉氏等執筆の趣味多き戯作に富む(定
 四十錢)發行所東京市京橋區築地三の一
 五其發行所
 ●白月現(四月號) 結日本主の雄健
 とする體裁にて國民道徳を世界化
 日本民族の特性を發揮し其唯一の
 名作也(定四十錢)發行所東京市京橋區築地三番五號
 ●朝業の研究(四月號) 櫻々有利た

[illegible][illegible][illegible]


け切られてはたまふれ、こんな戦を平に
 するに東洋の人達よりうまい事になり
 ますね何ですか、此の諸君の人達は
 大抵して領土、ある國境を主張する
 けれど小公子は、主權の領土を問は
 ざうた、すなう大分前から聞か
 りますが、もう附けたらどうして國境
 無しとしたらどうかとも聞きますから
 ね市民のために聞けてもよいもの

小僧入用 五名
鬼頭支店
京橋本町

金銀器
 上存銀
 電鍍
 一八四五
 秋葉

最
朝
衫高

上仁川醬油
由釀造



毛布暴落す

痛^{いたみ}を止^とめ

愛用者の激増した